



なかどおり

校報 NO20

H26. 12. 15

巢立ちの像

教育目標「心をつなぎ 夢をはぐくむ」

☆がんばる子ども ☆かしこい子ども ☆やさしい子ども ☆げんきな子ども

平成26年度 小学生人権標語コンテスト最優秀作品より

★いけない「い」 いじめ いじわる いやがらせ

★「ありがとう」 言って言われて うれしいね

★それ言うの？ 相手の気持ち 考えた？

★君もぼくも みんなもっている 幸せの権利



育児は育「自」

～冬休みを前にして～

以前、PTA指導者研修会が湯沢市で開催されたとき、秋田市の教育委員が基調講演をした内容は、今でも心に残っています。それは、下記のような内容でした。

・・・本来、家庭は、そこに戻れば自分の姿に戻れる安らぎの場です。家庭を構成しているのは家族です。家族関係の中で、何事もなく子どもを育てている家庭は皆無ではないかと思えます。(中略) 家族関係は、段階をへて変化していきます。

例えば、①自分たちの新婚時代②出産③育児④学童期⑤十代⑥巣立ち(成人と就職あるいは進学)⑦わが子の結婚⑧孫の誕生⑨父母の死⑩配偶者の死と・・・各段階で、時には、危機的な状況を乗り越えながら、家族の団結力(絆)を強めていくことが大切です。

親業は一生続きます。しかし、「育児」(児童も含め)は一生のなかでは短い期間です。その期間を家族で楽しむ期間、子どもと共に学ぶ期間、真剣に考える期間、親になったからできることと、前向きにとらえ、大事にしてほしいと思えます。「育児」は「育自」です。大人も学習し、成長していくのです。

家庭教育は、子どもの躰だけでなく、保護者であるわたしたちが、どうありたいか、どうあるべきかを問いかけている、その意味で「育自」です。

私は、家庭(家族でいること)での安心感が子どものエネルギーになると思えます。表現は適切ではないかもしれませんが、家庭は、何でも話すことができ、自分をだせる「赤ちょうちん」的存在と思えます。

ただ、ここで心がけておきたいことは、家庭に「きまり」(約束)があることが必要です。例えば、「早寝・早起き・朝ご飯」「お手伝い」「挨拶」「自分のことは自分で」「年下の子には優しく」「命を大切にする」等。単なる自由奔放では子どもは育ちません。家庭のきまりがあって我慢する心も育つと思えます。冬休みは教育の場が家庭に移動します。育児は育「自」の気持ちで、上記の文章をちょっぴり意識しながら、子育てを改めて見直す冬休みにしてほしいと思えます。

☆☆☆ お 礼 ☆☆☆

「体罰に関するアンケート」や「中通教育アンケート」へのご協力ありがとうございました。後者のアンケートは、今週水曜日頃までご提出方よろしくお願ひします。



4年 走り高跳び
より高く飛べ！



4年 中通地区の歴史について
土井輝雄先生



雪の降った3日朝
グラウンドで遊ぶ低学年児童

ゲーム脳の恐怖～冬休みを前に少し怖い話～

上記に関連した本がかなり前から出版されています。いまでも、学校関係の研修で取り上げているところもあります。私が読んだ本は、脳神経科学の第一人者・森昭雄の「ゲーム脳の恐怖」(NHK出版)です。気になる部分を少し抜粋して紹介します。

★ゲームをやりすぎてゲーム脳になると、前頭前野という新しい皮質の活動低下が起こり自己コントロールができなくなることもある。見て、視覚的に嫌なものであれば殴ってしまうこともある。

★ゲームをやると右脳の前頭前野のβ(ベータ)波が低下し、無表情になって笑わなくなってくる。

★1日数時間やっているこの9歳の女の子の脳波は、完全にゲーム脳になっており、α(アルファ)波の下にベータ波がきており、痴呆以下の状態になっている。

★本能的に行動する古い脳が優位に立ってしまい、突然キレて事件を起こす。

このゲーム脳から回復する方法もいくつか紹介されています。それは、サッカーや鬼ごっこなど全身を使った発散的な遊びやスポーツをすることや自然の中で五感を使った体験をすること。そして、読書(マンガも可)やお手玉などの昔遊びです。

ゲームのやり過ぎは、生活の乱ればかりでなく、脳の活動に悪影響を及ぼします。



エプロンシアター・パネルシアターに夢中(1年)



ひみつのグアナコ(2年)

市民一斉除雪デーのお知らせ

12月5日号の「秋田市広報あきた」にもありましたように、今年度も小学校周辺の通学路の除排雪作業を実施いたします。ご都合のつく方は、下記の日時に、中通小学校一階玄関前にお集まりください(駐車スペースはありません)。

☆平成27年1月12日(月・祝)成人の日(市内小学校の冬休み最後の日)

午前9時より2時間程度です。

☆ボランティアによる作業です。スコップ等の除雪用具は各自ご持参ください。

☆積雪が少なく中止の場合は、10日に「さきがけ」秋田市広報板で連絡があります。